

第五十一回帝國議會
衆議院

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)委員會議錄(速記)第二回

會議

大正十五年二月六日(土曜日)午後二時
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中村啓次郎君

理事 神田 正雄君

理事 柏田 忠一君

小寺 謙吉君 一柳仲次郎君

戸井 嘉作君 黒田重兵衛君

山田 又司君 山口 嘉七君

木暮武太夫君 松岡 俊三君

中村 巍君 杉 宜 陳君

坂梨 哲君 長峰 與一君

牧山 耕藏君 武藤 嘉門君

今六日委員ノ高山長幸君辭任ニ付其ノ
補闕トシテ杉宜陳君ヲ議長ニ於テ選定
セリ

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣男爵 幣原喜重郎君

出席政府員左ノ如シ

外務書記官 坪上 貞二君

藏大政務次官 武内 作平君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關
係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府
提出)

○中村委員長 開會致シマス、普通先
ヅ政府ノ方カラ提案ノ理由ヲ説明シ、

之ニ對シテ質問應答スルト云フ場合ガ

多イノデアリマスケレドモ、既ニ本會

議ニ於テ政府カラ提案ノ理由ヲ説明サ

レテアリ、且ツ本會議ニ於テ之ニ對シ

テ質問應答ヲ重ネラレテ居ルノデアリ

マスカラ、此場合政府ノ説明ヲ省略シ

テモ宜クハナイカトモ思ハレルノデア

リマシガ、諸君ノ御意見ヲ伺ヒマシテ

進行致シタイト思ヒマス、ドウ致シマ

セウカ——一應説明ヲ聽キマスカ

○柏田委員 モウ一應御説明ヲ願ッタ

ラドウデスカ

○中村委員長 ソレデハウウ云フ風ニ

取計ラヒマス

○武内政府委員 大體ニ於キマシテハ
本會議ニ於テ大藏大臣カラ御説明申上

ゲタノデアリマシガ、尙ホ多少詳細ニ

互リマシテ、私カラ御説明申上ゲルコ

トニ致シクイト思ヒマス、寺内内閣ガ

成立致シマシタ當時ニ、對支借款ガ成

立致シマシテ、此一億萬圓ハ其當時ニ

成立致シマシタ對支借款ノ一部デアリ

マス、御承知通り此外ニ交通銀行ノ借

款、參戰借款、兵器借款ト云フモノガ約

七千萬圓程アリマシタガ、交通銀行ノ

ハ其儘ニナッテ居リマシガ、參戰借款及

兵器借款ハ、臨時國庫債券ト云フコト

デ、前ノ議會ニ於キマシア大體解決ガ出

來テ居リマシガ、殘ッテ居リマスノハ

今回問題ニナッテ居リマス一億萬圓ノ

借款デアリマス、即チ有線電信ノ借款

二千萬圓、吉會鐵道借款前貸一千萬圓、

黒吉林鐵道借款ガ三千萬圓、滿蒙四鐵道

借款ノ前貸ガ二千萬圓、山東二鐵道ノ

借款ノ前貸ガ二千萬圓、合計一億圓デ

アリマス、是ハ日本興業銀行、臺灣銀行

及朝鮮銀行ヨリ直接ニ支那政府ヘ貸付

ケマシタ、其一部ノモノハ中華滙業銀

行ヲ經由シテ支那政府ニ貸付ケマシタ

モノデアリマス、此中デ鐵道ニ關係致

シマスモノハ、支那ノ國債證券ヲ取ッテ

居リマスガ、他ノモノハ所謂證文ニナッ

テ居ル次第デアリマス、右一億萬圓ノ

借款ヲ返セヌヤウニナリマシタ原因ニ

付キマシテハ、三銀行ガ營業トシテ貸

付ケタモノデナクシテ、寺内内閣ノ對

支政策ノ手段ト致シマシテ、三銀行ヲ

シテ是等ノ實行ノ衝ニ當ラシメタノデ

アリマス、其結果ト致シマシテ、右借款

ノ資源ニナッテ居リマス一億圓ノ興業

債券——此金ヲ作リマス爲ニ、興業債券

ヲ發行シテ、資源ヲ作ッタノデアリマス、

ソレニ對シマシテハ大正七年第四十帝

國議會ノ協賛ヲ經マシテ、政府ニ於テ

之ガ元利拂ノ保證ヲ致シテ居ル、興業

債券ニ對シテハ、三銀行ガ支拂ヲセヌ

場合ニハ、政府ガ支拂ヲ保證ヲ致シテ

居ル、且ツ興業債券ガ百圓ノモノガ百

圓ト云フコトデ發行ガ出來ナカッタカ

ラ發行差減デアリマス、其發行差減ヲ

大藏省ノ預金部ニ於テ五百萬圓ダケ引

受ケタ、サウシテ五百萬圓ダケ興業銀

行ニ貸シテヤッテ、其差減ニ充テ、居ル

ノデアリマス、茲デチヨット申上ゲテ置

キタイノハ、過日大藏大臣ハ御演說ニ

ナッテ居リマセヌケレドモ、此借款ヲ致

シマス際ニ、支那政府ガ此債務ノ實行

ヲ遲延シタル場合ニ於テハ、之ガ爲ニ

三銀行ガ營業上ニ不利益ノ無イヤウ

ニ、政府ガ相當ニ考慮ヲ加ヘルト云フ

覺書ガヤッテアル、而シテ單ニ興業債券

ヲ發行スル爲ニモ、興業債券ノ元利支

拂ノ保證ヲシテ居ルバカリデナシニ、
矢張此債權ガ支那カラ取レナイナラバ

ソレデ營業上不利益ヲ蒙ラセルト云フ

コトヲ先ヅサ、ナイト云フ意味ノ證文

ガ、今デモ存在致シテ居ルノデアリマ

ス、斯ノ如ク致シマシテ此借款ガ成立

致シタノデアリマスガ、其後借款ニ付

キマシテハ、借款ニ記載ヲシテアリマ

ス所ノ條件モ、一ツモ履行サレタモノ

ハナイ、ソレカラ當ニ條件ガ履行サレ

無イバカリデナク、償還ノ期限ニナリ

マシテモ元金ノ償還セラレタモノモ無

イノデアリマス、且ツ毎年支拂フベキ

利子デアリマスガ、是モ支拂ガ出求ナ

イ、唯大正七年ト大正八年トソレカラ

九年ノ一部ニ付キマシテ、又預カッタアル金ガアリマシタカラ、ソレヲ振替ヘテ充當ヲ致シタノデアリマス、デアリマスカラシテ大正七年八年九年ノ分ハ利息ハ濟ンデ居リマスケレドモ、其他ノ利息ハ今日ニ至ル迄其儘ニナッテ居リマス、尤モ其儘ニナッテ居ル利息ノ一部ノモノハ御承知ノ通り利拂借款ト稱シテ證書ガ取ッテアリマスガ、未ダ證書モ何モ取ッテナイモノモアルノデアリマス、今日迄一旦貸付ケマシタ一億萬圓ノ元金ハ勿論ノ事、利息ハ一ツモ入ッテ居ラナイノデアリマス、今日迄ドレ程ノ債權額ニナッテ居リマスかと云フト、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、元ノ債權ガ一億圓デアリマシテ、其後ニ利息ヲ拂ハヌカラ利息ヲ證文ニ取ツタト云フ金ガ三千三百六十萬八千二百七十圓ト云フコトニナッテ居リマスサウシテ是ダケガ利息ヲ拂ハヌ爲ニ證文ニ取ッテアリマス、其他證文モ何モ取ツテナイ利息ヲ計算スレバ請求ガ出來ルノデアリマスケレドモ、證文モ取ツテナイ所謂利拂借款ニモナッテナイ分ガ三百四十九萬三千五百八十一圓アルノデアリマス、尤モ此計算ハ大正十四年十月末ノ計算デアリマスカラシテ、其後又更ニ利息ガ殖エテ居ル次第デアリマス、此對支借款ノ整理ノ方法ト致シマシテハ、政府ニ於テモ色々研究致シタイデアリマスガ、先ヅ支那政府ヲ督促致シマシテ、元利ノ支拂ヲ確保シヤウ

ト云フコトヲ考ヘタコトハ勿論デアリマスケレドモ、御承知ノ通り同國ノ政治上ノ不安、竝ニ財政窮乏ノ今日デアリマスカラシテ、俄ニ所期ノ目的ヲ達スルコトハ困難デアリマス、偶々昨年十月ニ關稅ノ特別會議ノ開催ヲ見ルコトニナリマシタカラ、之ヲ機會ニ此借款ヲ是非整理シタイト云フ考ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、併ナガラサウ云フ考デ相當努力ハ致シテ居リマスガ、之ガ如何ナル程度ニ於テ此借款ノ回復ガ得ラルルカドウカト云フコトハ、今日ニ於テ豫斷ハ致シ難イ、此事ガ多少豫期通りニ進行シタモノト致シマシテモ少クトモ償還ヲ得マスルノニハ相當長イ年月ヲ要スルト云フコトハ、殆ド今日デハ疑ノ無イ事實ダト存ズル次第デアリマス、サウ云フ風ニ支那ニ對スル借款狀態ガナッテ居ルノデアリマスガ、翻ッテ此中ニ挾マッテ居リマス三銀行ノ狀態ヲ見マスニ、三銀行ハ元々自己ノ營業トシテ之ヲヤッタノデナイノニ拘ラズ、一ツモ元金ハ勿論、利息モ入ラナイノデアリマスカラシテ、ソレガ段々重ナッテ參リマシテ、年ト共ニ非常ニ困ッテ居ルノデアアル、此事ハ今日始メテ問題ニナッタノデハナイノデアリマス、只今申上ゲタヤウニ、支那カラハ一ツモ利息ガ入ッテ參ラヌ、サウカト言ッテ興業債券ヲ發行シテ居ルノデアアルカラ興業債券ノ利息ハ拂ッテ行カナケレバナラヌ、所ガ其利息ガ中ニ拂ヘナイノ

デ、非常ニ困リマシテ、大正十二年ニハ大藏省預金部カラ一千三百萬圓ト云フ大キナ金ノ融通ヲ受ケマシテ、サウシテ尙ホ足ラナイモノハ、自分ノ所ノ金ヲ足シテ漸ク利拂ヲシテ參ッタ、デアアルカラ此問題ニ非常ニ銀行ハ困ッテ居ル、政府モ非常ニ考慮研究ヲ致シテ居ルノハ、今日ニ始マッタノデハナイノデアリマス、大正十二年ト申スト、丁度井上藏相ノ時代デアリマス、歷代ノ大藏大臣ハ非常ニ苦心サレタモノト云フコトガ考ヘラルルノデアアル、尙ホ今後ドウ云フ風ニ是ガナッテ來ルカト云フコトヲ非常ニ詳細ニ調査シタノデアリマスガ、最近迄ニ既ニ二千三百五十萬圓程ノ金ヲ一億萬圓ノ外ニ繰越シ、詰リ拂ハナケレバナラヌヤウナコトニナッテ居ル、サウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマスガ、此利子ガ今後段々累積致シテ參リマス、大正二十二年迄ヲ勘定シテ見マスト、二千萬圓ト云フモノヲ更ニ拂ハナケレバナラヌ、若シ之ヲ拂フコトニナリマス、三銀行共破産シナケレバナラヌ狀態ニナル、此中デ比較的營業狀態ノ良イ日本興業ノガ、此儘デ參リマス、大正二十二年上半年ニハ利息ノ方ガ拂込資本金ヲ超エルコトニナリ、次ニ比較的マダ良イ所ノ朝鮮銀行ガ十七年ノ上半年ニ臺灣銀行ガ二十年ノ上半年ニナリマス、何レモ拂込資本金ヲ超過スル、斯ウ云フ狀態ニナッテ參ルノデアリマス、然ルニ之ニ何等ノ對策

ヲ講ズルコトナク進ンデ行キマスナラバ、三銀行ガ全然破綻ヲ生ズルコトハ見易イ所デアリマス、御承知ノ通り三銀行ガ特殊銀行トシテ政府ノ特別保護監督ノ下ニ立ッテ居リマスガ、此業態如何ガ一般財界及我國ノ對外信用ニ及ボス影響ハ重大ナノデアリマス、之ガ愈破産ヲスルコトニナルト、其結果ガ非常ニ財界ニ——殆ド回復スルコトノ出來ヌヤウナ大キナ打撃ヲ與ヘルト云フコトモ、推知スルニ難カラヌ事情デアリマス、此ニ於テ政府ニ於キマシテハ已ムヲ得ズ今回提出致シマシタヤウナ案ニ依テ、此問題ヲ解決致シタイト云フ趣旨デアリマス、デ、サウ云フヤウナ決心ノ下ニ色々其方法ヲ考ヘタノデアリマスケレドモ、從來勝田大藏大臣ノ時ニハ、御承知ノ如ク之ヲ救済スル爲ニ金ヲ五千萬圓貸シタ事モアルノデアリマスガ、併シ斯ウ云フヤウニ金ヲ貸シテ一時ヲ彌縫——ト申シマス、カ、通リ越サシタ所ガ、此禍ノ根元ハ到底抜ケナイ、デアアルカラ矢張思ヒ切ッテ——斯ウ云フ政府ノ財政モ窮乏シテ、整理緊縮ヲ一生懸命ニヤッテ居ル時デ、甚ダ困ルノデアリマスケレドモ、思ヒ切ッテ徹底シタ事ヲヤラナケレバ、治療ノ方法ガ無イト云フコトヲ考ヘマシテ、今回ノ法案ヲ提出スルニ至ッタノデアリマス、法案ニ規定致シテアリマス所ノ整理實行ノ方法ト致シマシテハ、預金部ノ引受保有ニ係ル興業債券及預金部

指定ノ預金並ニ自己ノ補足金、即チ三銀行ノ方カラ出シテ居ル金ハ直ニ之ヲ償還又ハ決濟セシムル爲メ——サウ云

アリマス、尙ホ細カイ事ニ付キマシテハ、御質問ニ應ジテ御答ヘ致シタイト考ヘマス

○柏田委員 ソレデハ質問ニ入りマスガ、此借款ノ性質ハ、單純ナル利息ヲ取ルトカ、金儲ヲスルトカ云フコトデナクシテ、對支經濟上ノ發展、又日本ト支那トノ經濟上ノ共存共榮ト云フ事ガ之ニ依テ増進サレルモノナリト云フ大根柢ノ下ニ企テラレタモノト私ハ思フノ

ヲ受ケテ居ナイノデアリマス、隨テ吾人ハ意見ヲ述ベル機會モ無カツタノデアリマス、其當時ノ内閣ガ果シテ如何ナル考ヲ以テ此借款ヲ致シマシタカ、是ハ私ニハ了解シ得ナイノデアリマス、隨テ此借款ニ含マレテ居ル目的ヲ遂行スルト云フコトハ、今ノ政府ニ於テハ其意思ヲ持ッテ居ナイノデアリマス

○柏田委員 只今外務大臣ヨリ外務省トシテハ此借款ニ關係ガ無イノデ、目的ヲ遂行スルト云フコトハドウカト云フ御答辯デアリマシタ、併ナガラ斯ウ云フ大キナ借款ガ成立シテ居ッテ、日本人ガ支那内地ニ於テ至大ナル關係ヲ有シテ居ル以上、苟モ外務省トシテハ其完全ヲ期スル爲メ、或ハ目的ヲ遂行スル爲メ、領事館モアルコトデアリマセウシ、此儘ニシテ置クト云フコトハ如何カト思フノデアリマスガ、目的ノ遂行ガ困難デアルト言ヒ、第一ニ其精神ガ能ク分ラヌト言フノデ、今後其關係シ

ト云フテ、非常ニ努力シタノデアリマスケレドモ、結局行ハレナイデ今日ニナッテ居ルノデアリマス

○柏田委員 併ナガラ私ノ聞知シテ居ル所デハ、幣原外相ハ當時御關係ニナラナカツタカモ知レマセスケレドモ、外務當局ニ於テモ、相當之ニ關係ナサッテ心配ヲサレタト云フコトハ、私モ承知シテ居ルノデアリマス、併シサウ云フコトデアレバ、是レ以上追窮致シマセヌ、仍チ大藏次官ニ御質問致シマスガ、私ハ本會議デモ質問致シタノデアリマスガ、是ハ政府ハ保證ノ地位ニ立ッテ居ルノデアリマシテ、三銀行ハ此契約ノ目的ヲ遂行スルダケノ十分ナル手續モ取レズ、利息モ取レナイ、尙ホソレニ對シテ支那政府ニ對シテ強制的ノ手段ヲ取ルコトモセズシテ其儘ニナッテ居ルモノヲ、保證ノ地位ニ在ル第三者タル政府ガ、之ニ代ッテ一億三千八百萬圓ヲ

○武内政府委員 只今外務大臣カラ御答ガアリマシタガ、其以前ニ於テ此借款ヲ完成シタイト云フコトデ、前ノ關係者ニ於キマシテハ極力ヤッタノデアリマススケレドモ、色々ナ條件ヲ出シテ來タリ、勝手ナ事ヲ言出シタリシテ、支那ノ側ニ於テ之ヲ完成シヤウト云フ誠意ガ無カツタ、ソレデ今日ニナッテ、從來ニ於キマシテ柏田君ノ御話ニナリマシタヤウナ趣意ニ依テ之ヲ解決シタイト

豫算ニ於テハ七百萬圓乃至一千萬圓ト云フモノヲ年々負擔シテ行クト云フ地位ニ立ッテ、而モ支那政府ノ方カラハ取レルカ取レナイカト言ヘバ、大藏大臣ノ御話デハ何等カ曖昧デアアル、而シテ又本條ノ第七デアリマシタカ、支那政府カラ取レタ場合ニハ三銀行ハ返スノデアアルカ、三銀行ハ果シテ支那政府カラ取ッテ返スノデアアルカ、政府ニ於テハ果シテ三銀行ガ支那政府カラ回收ガ出來ルト信ジ、ソレヲ當テニシテ此

整理案ヲ出シタノデアリマス

及其内容ハ、只今申上ゲマシタ通りデ

○弊原國務大臣 只今ノ柏田君ノ御質問ニ御答致シマスガ、此借款ニ付キマシテハ、外務省トシテハ何等ノ關係ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、當時私ハ外務次官トシテ外務省ニ居ッタノデアリマススケレドモ、外務省デハ何等相談

アリマス、尙ホ細カイ事ニ付キマシテハ、御質問ニ應ジテ御答ヘ致シタイト考ヘマス

○武内政府委員 只今外務大臣カラ御答ガアリマシタガ、其以前ニ於テ此借款ヲ完成シタイト云フコトデ、前ノ關係者ニ於キマシテハ極力ヤッタノデアリマススケレドモ、色々ナ條件ヲ出シテ來タリ、勝手ナ事ヲ言出シタリシテ、支那ノ側ニ於テ之ヲ完成シヤウト云フ誠意ガ無カツタ、ソレデ今日ニナッテ、從來ニ於キマシテ柏田君ノ御話ニナリマシタヤウナ趣意ニ依テ之ヲ解決シタイト

○武内政府委員　只今柏田君カラ御質問ニナリマシタ第一點デアリマスガ、是ハ本會議デモ大藏大臣カラ申上ゲタヤウニ、單ニ保證ノ義務ヲ履行スルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、此場合ニ於テ徹底的ニ整理ヲシナケレバ、三銀行ノ破綻ト云フコトハ推理上當然

キ支那ノ狀況デアリマスカラ、直グニ
來年ノ三月ニ取レル、再來年ノ五月ニ
ハ之ガ入ッテ來ルト云フヤウナコトハ
容易ニ期待シ難イノデアリマシテ、償
還シ得ラレルモノトハ信ジテ居リマス
ケレドモ、多少ノ歲月ヲ要スルコトニ
ナルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマ

任命權ハ總テ其銀行ノ裁量ニ任ズルト云フ御意思ハナインデアリマスカ
○武内政府委員 特殊銀行ノ頭取ニ付テハ、從來ニ於テモ色々御議論ガアルヤウデアリマスケレドモ、今政府ニ於テ直ニ之ヲドウスルト云フ決定ヲ致シテ居リマセヌ

スカラ、政府ニ於テモ其點ニ付十分ニ考慮研究致スコトニ致シタイト思ヒマス

○柏田委員　大藏次官ハ其當時ノ政府ガ惡イト言ハレルガ、惡イ事ヲシタノヲ政府ニ於テ認メテ、三銀行保證ノ地位ニ立ッテ整理ヲナサルノデアリマス

ノ歸結デアル、其結果トシテ日本ノ經濟界ニモ重大ナ影響ヲ及ボスト云フコトガ第一ノ理由ニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ更ニ只今御話ニナリマシタ通り、保證ト云フコトモアリマシガ、モウ一ツ私ハ營業上三銀行ニ迷惑ヲサセヌト云フコトガ、此法律ト云フ

ス、一面ニ於テハ一方ノ破綻ノ狀況ニ
立到ルコトハ、先キニ數字ヲ舉ゲテ申
シマシタガ、大正十七年ニ破綻ヲ生ズ
ルコトニナルノデアリマスカラ、償還
ヲセラルル見込ガアルカラト云ツテ、之
ヲヂット待ツテ居ル譯ニハ參ラヌノデア
リマス、斯ウ云フヤウナ狀態ヲ其儘ニ

○柏田委員　特殊銀行デアリマシテ、其頭取ガ政府ニ於テ任命スル關係上、被監督者タル位置ニアルカラ、政府ノ方針ノ下ニ斯ウ云フ事ヲヤラレタノデハナイカ、營業ノ範圍ヲ超エテ居ッテモ、之ヲ拒絶スルコトガ出來ナイ場合モアラウト思ヒマス、サウシテ其銀行

カ
○武内政府委員　モウ出来タ事デアリ
マスカラ、之ヲ此儘ウツチャツテ置クコ
トハ出来ナイカラ、前ノ政府ノ政策ト
同一デアラウガ無カラウガ、此始末ダ
ケハ政府トシテ着ケテ行カナケレバナ
ラヌト信ジテ居リマス

立場カラ研究致シマスルト、果シテ契約ト見ルベキカドウカ疑問デアリマサガ、兎モ角モ政府ハサウ云フヤウナ事ヲ引受ケテ居ル、然ルニ一方ニ於テハ三銀行ガ此儘デ行クト云フト、破産ヲスルト云フ事ニ決ツテ居ルノデアリマスカラ、非常ナ迷惑ノ境遇ニ陥ツテ居

致シテ置キマスナラバ、ソレガ非常ニ
財界ニ影響ヲ與ヘルノミナラズ、御承
知ノ通り三銀行ノ中ニ、二銀行ニ於テ
ハ昨年大々の整理ヲ決行シタノデアリ
マスガ、其整理モ此問題ガ纏レテ來ル
ト、全然根柢カラ打毀ハサレテシマウノ
デアリマスカラ、御話ノ通りニ非常ニ

ガ困ハ立場ニナツテ來ルノデアラウト
思フ、其三銀行ガサウ云フ始末ヲ來タ
シテ、其破綻ガ追ッテ來タ場合ニ於テ、
政府ハ之ヲ救済シテヤラナケレバナラ
ヌ事ニナリ、一般國民ニ之ガ爲ニ負擔
ヲ重クスルコトニナレバ、國民ニ非常
ニ迷惑ヲ掛ケルコトニナリハセヌカト

○柏田委員　外務大臣ニ伺ヒマスガ、山東鐵道、滿洲鐵道モ西原借款ニ含マレテ、四國銀行團ニ權利ヲ讓渡スルト云フ交渉ガ或ハ契約ガ成立シテ居ッタヤウニ記憶致シマスガ、ソレハ確カ外務省ノ當局ニ於テ御取扱ニナッタ事ト思ヒマスガ、四國借款團ニ權利ヲ讓渡ス

ルノハ當然ノ事デアリマス、其點カラ
申シテモ、此場合ニ於テ之ヲ解決スル
ト云フコトハ至當ナ事デアルト、政府
ハ考ヘタノデアリマス、更ニ支那カラ之
ヲ回收スルコトガ、出來ルカ、出來ヌカ
ト云フ事ニ付テハ、回收ヲスルトモセ
ヌトモ確實ナ事ハ申サレナイ、無論回

國民ノ負擔ガ殖エルノデ、吾々モ期ウ
云フ事ハシタクナイ、ドウゾ其事ナラ
止メタイノデアリマスケレドモ、矢張國
策トシテ此場合ニ於テドウシテモ決行
シナケレバナラヌ狀況ニナッテ居ルノ
デ、苦心ヲ致ス次第デアリマス

○柏田委員　三銀行ハ所謂特殊銀行デ

思フノデアリマス、政府ガヤツタ事デ、ソレガ惡カッタナラバ、責任ヲ負ウテ協議スレバ宜イケレドモ、金融機關ノ如キ之ガ爲ニ容易ナラヌ事ニナル、其點ニ付大藏次官ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○武内政府委員　只今柏田君ノ御憂慮ニナリマシタ點ハ、私モ同感デアリマス

ルト云フコトニナレバ、結局其權利讓渡ノ代金ヲ取ラナケレバナラヌノデ、ソレハ債權ヲ遂行ナサル御意思デアリマスカ、又ハ此儘ニシテ、此四鐵道ヲ若モ四國借款團ニ於テ引受ケナイ場合ニ於キマシテハ、矢張是ハ元々通リ此四ツノ鐵道ヲ完成セシメテ、サウシテソ

收サセヌケレバナラヌト云フコトデ、
政府ハ現ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリ
マスガ、ソレニシテモ是ガ御承知ノ如

ルモノデアリマスガ、政府ハ將來モ此
三銀行ノ頭取ヲ政府ノ手ニ於テ任命サ
レルノデアリマスカ、サウデナシニ、其

要スルニ其當時ノ政府カ惡イノテアリ
マスケレドモ、結局サウ云フヤウナ弊
害ニ陥リ易イ組織ニナツテ居ルト云フ
コトハ、餘程考慮ヲ要スル問題ト考ヘマ

レヲ擔保トシテ將來回收シテ行クト云
フ何レカ其一ツデナケレバナラヌト思
フノデアリマス、是ハ外務大臣ニ御伺
シテ置キタイノデアリマス

○幣原國務大臣 山東鐵道ノ延長線ニ付キマシテハ過般ノ華盛頓會議ノ山東會議ナルモノニ於キマシテハ、之ヲ今日ノ對支借款團、所謂四國財團ニ提供スルト云フ話デハナイノデアリマシテ一ツノ新タナル——國際財團ト書イテアリマス、ソレニ提供スル意思ガアルト云フコトヲ日本ノ委員ガ申シタコトハアリマス、ソレダケニナッテ居リマシテ、ソレヨリ何ニモ進ンデハ居ナイノデアリマス、マダ其提供ヲ受ケルベキ財團ガ實ハ出來テ居ナイノデアリマス、ソレカラ確カ洮南熱河ノ鐵道、是ハ四國財團ニ日本ハ提供スルト云フ話合ニナッテ居ッタヤウデアリマス、併シモマダ何等ソレヨリ以上話ガ進ンデ居ル譯デハアリマセヌ

○武內政府委員 一寸御話申上ゲテ置キマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、私共モ斯ウ云フヤウナ法律案ヲ制定シナクテ済ムコトナラ、是非シタクナイノデアリマスルケレドモ、已ムヲ得ズ制定ヲ見マスルコトニ立到ッタノデアリマス、就キマシテハ、十分諸君ノ御諒解ヲ求メ、延テ國民ノ諒解ヲ求ムルト云フコトガ、最モ必要ナ事デアアルノデアリマス、先程柏田君カラ御質問ノアリマシタ、何故之ヲ此儘ニ置イテ遂行ヲシナイカト云フコトニ付キマシテ、之ヲ遂行シヤウト思ウテ、歷代ノ內閣ガ非常ニ努力シタケレドモ、結局遂行ガ出來ズ今日ニ至ッタノデアアルト云フコ

トヲ申上ゲタノデアリマス、更ニ此點モ餘程御理解ヲ願フ必要ガアリマスルカラシテ、之ヲ今申上ゲマスルコト云フト、非常ニ長イコトニナリマスルカラシテ、次回マデニ之ヲ簡單ニ縮メマシテ、更ニ申上ゲテ御理解ヲ願ヒタイト思ヒマスルカラ、御承知置キヲ願ヒタスガ、外務大臣……

○中村委員長 一寸柏田君ニ申上ゲマシタ、外務大臣ニ對スル質問ハモウアリマセヌ

○中村委員長 ンレデハアナタノ質問ハ留保ヲ致シマシテ、外務大臣ニ對スル質問ヲ願ヒマス——坂梨君

○坂梨委員 私ハ極ク簡單ニ質問ヲ致シマス、濟順鐵道ト高徐鐵道ト二鐵道、竝ニ滿蒙四鐵道ノ中ノ大半ヲ、四國借款團ニ提供讓渡シタト私ハ思ッテ居リマスガ果シテサウデアリマスカ

○幣原國務大臣 其問題ハ、只今柏田君ノ御質問ニ對シテ一寸御答シタ積リデアリマスガ、滿蒙四鐵道ノ中ノ洮南、熱河ノ線及其線ノ一地點ヨリ海口ニ到ル——海口ト云フノハ何處トモ指定シテアリマセヌ、海口ニ到ル二ツノ線ハ日本ノ借款團ノ後ヨリ四國借款團ニ提供スルト云フコトヲ聲明致シテ居ルノデアリマシテ、マダ四國借款團ニ於テソレヲ引受ケタト云フ譯デハナイノデアリマス、之ヲ提供スルト云フコトダケノ聲明ヲ致シテ居ルノデアリマ

ス、ソレカラ山東ノ鐵道ノ延長線、即チ高密徐州、及濟南順德、アノ二ツノ線ニ付キマシテハ、先刻申シマシタ通り、一ツノ新タナル財團ニ之ヲ日本ハ提供スル意思ガアルト云フコトヲ聲明致シタルデアリマス、併ナガラ其ノ新タナル財團ト云フノハマダ出來テ居マセヌカラ、ソレガ引受ケルトカ受ケヌトカ云フ具體的ノ問題ハ、マダ生ジテ居ナイノデアリマス

○坂梨委員 有線電信借款ノ事デ一寸御尋シタイ、有線電信ニ關スル英國ト丁抹トノ關係ハドウナッテ居ルカ、ソレカラ其權利行使ノ狀態ハドウ云フ風ニ運ンデ居ルカ、尙ホ續キマシテ有線電信ノ收入ハ現在如何ナッテ居リマスカ

○富田政府委員 今御質問ノ有線電信借款ニ付キマシテ、支那ト丁抹トノ間テ海底電線ニ關スル契約トノ關係ニ付テ御質問ガアリシマタガ、ソレニ付キマシテハ、有線電信借款ノ條文ノ中ニ於キマシテ、將來支那政府ト丁抹英國トノ間ノ光緒二十六年ノ七月ノ上海太沽間ノ海底電線契約及同年ノ十二月ノ支那丁抹英國間ノ芝罘太沽間ノ複線ノ海底電線契約及宣統三年ノ三ノ臺東臺北兩會社トノ間ノ電報料前貸契約ニ付テ、將來ソレヲ變更セントスル場合ニ於テハ、日本側ノ銀行團ノ同意ヲ要スルコトニナッテ居リマス、且ツ日本ノ銀行團ハ、今申シマシタ三海底電線契約ト云フモノヲ承認スルコトニナッテ居

リマス、收入ノ點ハ最近ノ計數ハ手許ニ持ッテ居リマセヌガ、大正五年ノ豫算ニ於キマシテハ、全國ノ電報ノ收入ガ七百四十三萬四千五百六十六元ト上ッテ居リマス、最近ノ計數ハ一寸手許ニ持ッテ居リマセヌ

○坂梨委員 此有線電信ノ收入ヲ、本借款ノ利子拂ニ充當サレタヤウナ機宜ノ處置ヲ執ラレタ事ガアッタノデアリマスガ

○富田政府委員 此有線電信借款ニ對シマシテ、支那ノ全國ノ有線電信ニ關スル財產及收入ガ擔保ニナッテ居リマスルケレドモ、其收入ニ依テ現實ニ此借款ノ利子ヲ取ッタト云フ事實ハ無いノデアリマス、唯此借款ニ一部ヲ銀行ノ方ニ留保シテアリマシテ、其中カラ利子ヲ取ッタト云フコトハアルノデゴザイマス、併シ電信ノ收入ノ中カラ利子ノ支拂ヲ受ケタト云フコトハナカッタノデアリマス

○神田委員 種々ナル事ニ付テ大部御質問ガアリマシタガ、私ハ比較的重要ナル點ニ付テ御伺ヒシタイ事ハ、此法律ガ制定サレルト同時ニ、支那ノ方ノ關係ガドウナルカ、詳シク申シマスレバ、此法律ノ制定ト云フコトハ、從來ノ支那ト三銀行トノ間ノ契約ヲ全部破壞シタヤウナ結果ニナラナイカト云フコトト、ソレト同時ニ支那ノ國情カラ申シマシテモ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、支那側デハ、全部今マデノ契約ト云フモ

ノハ是ハ、日本デハ法律ヲ拵ヘテ整理シタト云フコトニナルト、支那トノ關係ニ於テハ無効デアルト云フコトヲ主張サレタ時ニ、果シテ日本デハ此契約ガ繼續スルト云フコトガ言ヒ得ルカドウカト云フコトガ心配デアリマスガ、之ニ付テ御回答ヲ願ヒタイ

○幣原國務大臣 此法律案ハ支那ト三銀行トノ關係ヲ何等變更スルモノデハナイト考ヘテ居ルデアリマス、支那ト三銀行トノ間ニ於ケル權利義務ノ關係ハ、之ニ依テ何等影響ヲ受ケルモノデハナイノデアリマス

○神田委員 表面ニ於テハ、是ハ依然トシテ三銀行ハ責任者ノ地位ニ立ツト云フコトニナツテ居リマスルガ、從來此契約ガ出來テモ、今大藏次官ガ御話ニナツタ通り、一ツモ實行サレテ居ナイノハ何ガ爲デアルカト申セバ、支那ノ國情ガ之ヲ然ラシメテ居ルト云フコトハ明ニナツテ居ルデアリマス、サレバ内地ニ於テハ法律上カラシテ何等關係ヲ及ボスモノデハナイト仰セラレマスケレドモ、事實ノ問題トナレバ、何故オ前ノ國デハ法律ヲ拵ヘテ肩替リヲシテ居ルノデアルカト云フコトニナツタ時分ニハ、恐ラク之ニ對スル回答ヲ如何ニスルカト云フコトヲ杞憂致シテ居ルノデアリマス

○幣原國務大臣 ソレハ日本ノ國內ノ問題デアリマシテ、日本ハ三銀行ノ救済ヲヤルト云フダケデアリマシテ、支

ニ、日本政府ガ此法律ガ通過シマスレバ之ニ依テ整理ヲスルト云フ爲ニ支那ガ此借款整理ノ責任ヲ免レルト云フ譯デハナイコトト私ハ考ヘルノデアリマス、現ニ今回ノ關稅會議ニ於キマシテモ、斯ノ如キ不確實ナル債務ハ整理シナケレバナラヌト云フコトハ、支那側ニ於テモ認メテ居リマシテ、其目的ニ向ッテ努力スル積リデアリマスガ、何等支那側ノ責任ヲ解除スベキ理由ハナカラウト私ハ思フノデアリマス

○神田委員 餘リ永クナリマスガ、是モ勿論只今ノ外務大臣ト同ジヤウナ意見デ出來タモノト思ヒマスガ、サウシテ見ルト、何時デモ日本側ハ正シイ途ヲ以テ契約ノ履行ト云フコトニ付テ進ンデ參リマスガ、支那ノ國情ハ、今日ト雖モ民國ノ七年ニ此契約ヲ結ンダ當時ト大ナル變化ハナイト思フ、サウスルト、唯此方ガ今迄ノ銀行ノ借款ヲ整理シテヤルト云フコトニナレバ、銀行ハ從來ニ於テサヘモ自分ノ責任デアルニ拘ラズ、而カモ其債權ヲ催促シ、督促スルコトガ出來ナイデ、或ル意味ニ於テハ今度ノ關稅會議ハ政府ニ頼ンデ之ヲ整理シヤウト云フ段取ニナツテ居ルト思フ、サウナルト云フト、十分ノ注意ヲ以テ此整理ニ掛ラナケレバ、支那ニ立派ナ口實ヲ與ヘ、今迄ハ前内閣及前々内閣ニ於テ不明ニシテ、支那ノ實情ヲ能ク知ラナイデ、斯ウ云フ事ヲ爲シタト云フ非難ガアルノデアルガ、將來ニ於テ

ハ現内閣ガ再ビ其不明ノ誹ヲ受ケルヤウニナリヤシナイカト思フノガアリマス、斯ウ云フ事ニ付テハ政府ハ何處マデモ責任ヲ以テセラレルト云フコトデアリマセウガ、是ハ迴ッテハ對支政策ノ根本ヲ定メルト云フ爲ニモ必要ヲ生ズルノデアリマス、サレバ其點ヲ明ニシテ置ク必要ガアルト思フ

○幣原國務大臣 一寸神田君ノ御趣旨ハ、私ニハ吞込メヌ所モアリタシタガ、要スルニ是等ノ借款ハ其目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ別問題デアル、併ナガラ金ヲ借りタト云フ事實ハ支那ガ認メテ居ル、金ヲ借りタノデアルガ、支那ハ返サナイト云フコトハ申サヌノデアル、唯借款ノ條項ガ今日總テ實行サレテ居ルカドウカト云フコトガ問題デアリマスルガ、支那モ借款ノ事實ヲ認メテ、之ヲ整理スルト云フコトニハ異議ハ無イノデアリマス、サレバ日本ガ此際此銀行ヲ援助シテ、整理ニ努メルト云フコトハ、支那側ノ金ヲ借りテ居ルト云フ意味ヲ何等減殺スベキ理由ハ無イト考ヘテ居リマス、隨テ今回關稅會議ノ席上ニ此問題ガ出マシテ、日本ノ政府ガ此手段ヲ執ッタト云フ爲ニ、日本ノ政府ノ主張ガ弱クナルト云フ理窟ハ私ハアルマイト思フノデアリマス

○牧山委員 外務大臣ニ御尋ヲ致シタイ此借款ニ關シテ幣原男爵ハ當時ノ外務次官トシテ居ラレタノデアルガ、其

當時能ク知ラナカッタト云フ先刻ノ御話デアッタ、當時ハ私設公使ト唱ヘレタ西原某ノ仕事ト云フ意味カラ、左様ナ御話ヲサレタノカモ知レヌガ、今回外務大臣ニ御就任後、此事ニ就テ支那ニ御交渉ニ相成リマシタコトハ、一回モ無イノデアリマスカ、一寸ソレヲ承リタイ

○幣原國務大臣 私ガ就任致シマシテカラ、此問題ニ付テ支那政府ト何等交渉致シコトハアリマセヌ

○牧山委員 先刻ノ武内政務次官ノ御話ニ、屢支那ト交渉ヲシタガ、一向取レル見込モ立タナイ、ソレデ此法案ヲ提出スルト、斯様ニ此席デ御説明ニ相成ッタノデアリマスカ、ソレハ如何ナル機關ヲ通ジテ御交渉ヲサレタノデアリセウカ、其經過ヲ詳シク承リタイと思ヒマス

○武内政府委員 ソレハ先刻申上ゲマシタヤウニ、或ハ前内閣、前々内閣、歴代ノ内閣ニ於テヤツタ其顛末ヲ今申上ゲマスルト、非常ニ長イモノニナリマスカラ、明日ソレヲ約メテ申上ゲマスト、斯ウ申上ゲテ置イタノデアリマスカラ、成ベク今日ハ外務大臣ニ關スル御質問ダケヲ願ヒマシテ、其點ハ明日申上ゲマス

○幣原國務大臣 一寸先刻私ガ申上ゲタコトハ、少シ正確デナイカモ知レマセヌカラ、其點ヲ正シテ置マスカ、今回關稅會議ニ關係シテ、不確實債務ヲ整

理スルト云フ問題ガ起リマシタトキニ、此借款ヲ整理サレルベキ借款ノ目錄ノ中ニ入レルカドウカト云フ問題ガ起リマシテ、目錄ノ中ニ入レルコトニ就テ、吾々ハ努力致シタノデアリマス、支那側モ其目錄ノ中ニ入レルコトハ承諾致シタ、ソレダケノ交渉ト申シマスカ、支那政府トノ交渉ハアッタノデアリマス

○牧山委員 サウスルトドウモ其點ガ少シハッキリシナイノデアリマスカ、只今ノ大藏政務次官ノ御話デモ、前内閣迄ニ交渉シタ結果ヲ詳シク申述タイト云フコトデアリマスカラ、後日ソレヲ伺ッタ上デ更ニ又質問致シマス、然ラバ改メテ幣原外務大臣ニ御伺致シタイと思ヒマスガ、吉會鐵道、其外此借款ノ目的ニナッテ居リマスル問題ニ就テ、如何ニ現政府ハ御考ヘニナッテ居リマスカ

○幣原國務大臣 吉會鐵道ノ問題ニ付リ申サレタル如ク、吉會鐵道ハ前内閣ノ時デアリマシタカ、前々内閣ノ時デアリマシタカ、能ク覺エマセヌガ、之ヲドウカシテ實現致シタイト云フコトデ努力致シマシタガ、其時ニハ目的ヲ達シナカッタノデアリマス、吾々ハ此吉會鐵道借款ヲ其儘實現セルシムルコトハ、到底出來ヌト云フノデ思切リマシテ、他ノ方法ニ依テ、例ヘバ吉會線ノ一部分タル吉林ト敦化ノ間ノ鐵道ト云フ如キモノハ、過日滿鐵會社ニ於テ其工事ノ請負ヲ致スコトニナリマシタ、其契約ガ出來テ居ルノデアリマス、結局吉會鐵道借款ヲ實現セシムルコトハ不可能デアルト思ッテ、ソレハ既ニ斷念致シタ次第デアリマス

○武内政府委員 是ハ外務大臣ニ御尋ニナッタノデアリマスカ、私ガ先刻申上ゲマシタ事ヲモウ一度御諒解ヲ願ッテ置キタイと思ヒマス、是ハ無論金ハ出ス、後ハ其儘打遣ッテ置クト云フノデヤ

○武内政府委員 是ハ外務大臣ニ御尋ニナッタノデアリマスカ、私ガ先刻申上ゲマシタ事ヲモウ一度御諒解ヲ願ッテ置キタイと思ヒマス、是ハ無論金ハ出ス、後ハ其儘打遣ッテ置クト云フノデヤ

ナイノデアリマス、丁度此法律案ニアリマスカウナ風ニ、今後入ッテ來ルモノハ、總テ政府ノ方ヘ持テ來イ、又其他有ラユル方法ニ付テハ、總テ政府ノ指揮ニ遵ヘ、斯ウ云フ法律案ニナッデ居リマス、相手方ノ方モ、ソレヲ承認シテ居ルノデアリマスカラ、決シテ銀行ノ方ノ整理ガ付イタカラ、其儘デ打遣ッテ置クト云フコトハ萬々アリマセヌ、唯私ガ想像致シマスルニ、外務大臣カラ種々ノ事ヲ多言サレルコトハ宜クナイト云フ御考デ、極ク簡單ニ御答辯ガアッタモノト考ヘルノデアリマス、此問題ノ解決ガ出來ルヤウニト云フコトニ付テ、餘程努力サレテ居ルト云フコトハ私モ承知致シテ居リマス、又是ハ一寸私一言致シマシタガ、臨時國庫債券ノ特別會計廢止案ノ時分ニモ、外務當局トシテ其處ニ御出デニナリマス中村君ガ極力努力ヲスル、サウシテ又之ヲ全ウスルト云フヤウナコトヲ御聲明ニナッテ居ルノデアリマスカラ、外務省ニ於テハ誠心誠意此問題ノ解決ニ努力サレルコトト思ヒマス、又吾々大藏當局ニ於キマシテモ、何處マデモソレノ解決ノ出來ルヤウニ努力ヲ續ケルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス、其點ニ付キマシテ、力及バズシテ巧ク行カスト云フコトハ致方アリマセヌケレドモ、此法律ノ規定、又吾々ノ努力ト云フコトハ、何處マデモ致ス積リデアリマス、ドウゾ其點ハ御安心ヲ願フ——ト云フ譯

ニモ參リマスマイカ、御諒承ヲ願ヒマス

○坂梨委員 只今大藏政務次官ヨリ御答辯ヲ下サイマシタガ、其御答辯ニ依リマスルト、兎ニ角國民ノ負擔ニ依テ此整理ヲスルト、整理ヲシタ以上ハ、必ズ相當ノ努力ヲ拂ッテ、支那トノ折衝其ヒマスカ、之ニ當ルト云フ大藏政務次官カラノ御答辯ハゴザイマシタガ、是ハ即チ肩替リト同様ノ意味ヲ有シテ居ルモノト私ハ聽取リマシタ、外務大臣モサウ云フ御考デアリマスカ、外務大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒマス

○武内政府委員 一寸私ノ言ツタコトニ誤解ガアツテハ困リマスカラ、尙ホ私カラ一言致シマスガ、是ハ先程外務大臣ヨリ説明ガアリマシタヤウニ、全然肩替リデナイ、支那トノ借款關係ニ於テ肩替リデナイト云フコトハ、此法律ノ中ニ方々ニ明ニ書イテアリマス、努力ハスルニシテモ、矢張元ノ三銀行ノ名義ニ依テヤル譯デアリマス、サウシテソレノ回收ガ出來レバ此方カラ金ヲ出シテ貰ッテ居ルノデアルカラ、ソレノ又辯償ノ代リニ其銀行カラ持ッテ來ルト云フヤウナ順序ニナルノデアリマスカラ、其法律關係ダケハ御諒承置キヲ願ヒマス

○柏田委員 有線電信借款ノ事デアリマスガ、先程ドナタカノ御尋デ、支那ノ電信ノ收入等ニ付テ御尋ガアリマシタ

ガ、有線電信借款ニ付テハ、英國ノ「グレートイースタン」丁抹ノ「グレート、ノーズン」此契約借款關係等ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、竝ニ又其權利行使ノ實情如何ト云フコトデアリマスガ、詰リ只今ドナタカ七百萬圓ノ收入ガアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ私ハ大北ダケノ收入デハナイカト思フ、大東モアリマセウシ、サウシテ是ガ第一擔保ニナツテ居ル筈デアリマスガ、日本ノ借款關係ハ第二擔保ニナツテ居リマスカラ、第一擔保ヲ控除シタル第二擔保ハ當然日本ノ手ニ歸サナケレバナラヌ、海底電線ハ一千哩、有線電信ハ三萬七千哩モアルノデ、年々歳々増加シテ參ル、是ハ大正五年ノ統計デアリマスガ、今年ハ大正十五年デアリマスカラ、十年前ノ統計ヲ以テ——其間ノ借款關係ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ未ダ會テ一文モ取ラレタコトハナイノデアリマスカ

○武内政府委員 先刻申上ゲマシタ通り、新シイ表ヲ持參致シテ居リマセスカラ、次回迄ニ能ク調査ラシテ、御満足ノ行クヤウナ御答辯ヲ申上ゲマス

○小寺委員 寺内内閣ノ時代ニ、勝田藏相ノヤラレタ所謂西原借款ナルモノハ、政府ガ貸ス考デアッタモノヲ、便宜上三銀行ヲ使ウテ貸シタノデ、政府ガ貸シタト云フ風ニ先ヅ大體議會ニ於テ私ハ承知シテ居ル、三銀行ト云フモノハ政府ノ使用人ト云フ形デ、便宜上其

方デ出セト云フヤウナ譯デ貸サレタモノト私ハ記憶シテ居ル、ソレデ當時吾吾ハ非常ニ此借款ニ反對ヲシタノデアリマス、然ルニ政府ハ何處迄モ横車ヲ押シテ貸サレタ、先刻武内政務官カラ政府カラ三銀行ニ交付シタル覺書ガアルト言ハレマシタガ、願クバ此際其覺書ヲ見セテ貰ヒタイ、サウスレバ事情ガ分ルノデアリマス

○武内政府委員 只今小寺君ノ御尋デアリマスガ、事實上ノ關係ニ於テハ只今小寺君ガ御話ニナリマシタヤウナ狀況ニナツテ居リマス、併ナガラ法律ノ關係カラ見マスルト云フト、純然タル三銀行ガ債權者デアリマシテ、支那ガ債務者デアアル、政府ハソレニ要スルニ便宜ヲ與ヘテ、其資金ヲ造ルニ便宜ヲ與ヘタト云フノニ外ナラヌノデアリマス、併シ實際ノ事情ハ只今小寺君ガ御話ニナツタヤウナ大體狀況ニナツテ居ルト考ヘマス

○中村委員長 政府ハ其書類ヲ出シマスカ

○武内政府委員 成ベク貴意ニ副ヒタイト思ヒマスガ、能ク歸ッテ……

○柏田委員 一ツ要求シマス

○牧山委員 私人甚ダ疑點ト致シテ居ルノハ其點デアリマス、本借款成立當時、幣原君ハ外務次官ニ居ラレタノデアルガ、此重要ナル而モ一億三千餘圓ト云フ莫大ナル金額ヲ政府ガ三銀行ニ命ジテ貸シタ、サウ云フ場合ニ一國

ノ外務次官ガマルデ知ラナイト云フヤウナコトハ、是ハ重大ナル問題ト考ヘルノデアリマスカラ、當時ノ政府ヨリ三銀行ニ渡サレマシタ覺書デアリマスカ、何ト云フ名前ノモノデアアルカ、其書付ヲ是非委員會ニ御提出ヲ願ヒタイ、其上デ改メテ外務大臣ニ御伺ヲ致シタイト思ヒマス

○武内政府委員 皆サンノ御希望デアリマスルナラバ、御覽ニ入レルコトニ致シマスガ、此時分ハドウ云フ關係デアリマスカ、其記錄ヲ能ク調べテ見ルト、外務省ナドノ關係ハチットモナクテ、私ノ申シマス覺書ト云フヤウナモノモ、大藏大臣ノ名前ガ書イテ、唯大藏大臣何々殿ト書イテ、其下ニチヨット印ヲ捺シテ居ルト云フヤウナ程度ノモノデアリマス、ケレドモ一應提出ト云フヨリモ、成ベク持ッテ來テ御覽ニ入レテ、尙ホ寫シデモ欲シイト云フヤウナコトニナリマスレバ——餘リサウ云フモノヲ持廻ルト云フコトハドウウカト思ヒマスガ、御覽ニ入レルコトニ致シマセウ

○牧山委員 此法案審議ノ上ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居リマスカラ、是非……

○中村委員長 私ハ此場合外務大臣ニ御尋シテ見タイノデアリマス、此案ノ成立ノ上ニ於キマシテ、吾々ノ最モ考慮シナケレバナラヌ問題ハ、三銀行ノ責任ニ國民ガ一時肩代リヲスル、大分肩代リ論ガアリマシタガ、支那ニ對シ

テ肩代リヲスルヤウニ見エル場合モアル、政府ガ三銀行ニ對シテ肩代リヲスル場合モアル、兎ニ角日本ノ國民ガ一般ニ三銀行ノ肩代リヲスル傾デアアルノデアアルカラ、能ク國民ニ納得サセナケレバナラヌト思フ、國民ニ納得サスノニハ、第一最初ノ著手ガ國策ニ出デタモノナルガ故ニ、政府ガ是ガ世話ヲシナケレバナラヌ、第二ニハ三銀行ガ窮境ニ立ツタカラ、此三銀行ガ破綻スレバ、此影響財界ニ及ボス所大デアアル、故ニ此財界救済ガ當面ノ大問題デアアルカラ、吾々國民ガ一時肩代リヲシナケレバナラヌ、此兩方ノ關係ガ國家ガ此問題ニ携ッテ本案ヲ提出シテ協賛ヲ求メル重要ナ理由デアラウト私ハ思フ、所デ第一ノ此國策遂行ト云フコトニ付キマシテハ、多少其遣方ガ善イカ惡イカト云フ問題ハ無論アリハシナイカ、只今此委員會ノ模様ヲ見マシテモ、質問應答ニ依リマシテ、最初ヤッタ遣方ニハ不同意ノヤウナ御意向ノ現レル點モアル、尤モ善カッタカ惡カッタカト云フコトハ別問題ト致シマシテ、兎ニ角國策トシテ進ム、而シテ其結果ガ三銀行ヲ倒セバ直チニ財界ニ惡影響ヲ來タス、故ニ一時國民ガ忍ンデ肩代リヲシナケレバナラヌ、併ナガラ國民モ唯肩代リヲシテ自分等ガ責任ヲ負ツタト云フ、負ヒツ放シデハ我慢ガ出來ナイノデアアルカラ、矢張此法案ニモ書イテアルヤウニ、三銀行ハ本借款關係ノ元利ノ支拂

ヲ受ケタル時ハ、直ニ之ヲ政府ニ納付スル、元利ノ支拂ヲ受ケルト云フコトハ、國民ニ對スル一ノ安定ヲ與ヘル所ニ以デアアル、所デ此元利ノ支拂ヲ受ケルト云フモノハ、ドウ云フ時デアアルカト云フコトヲ考ヘマスト、三ツノ場合ヨリ無イト思フ、一ツハ事業ノ遂行ニ依テ、曩ノ所謂西原借款ナルモノハ、前渡金ナンカラ出シテ、漸ク事業ノ前提ニ過ギマセヌカラ、即チ事業ヲ遂行シテ、其遂行ニ依テ得タ利益ヨリ受取ルベキ結果ニナル、返済スルコトニナル、第二ハ今回ノ關稅會議ニ於キマシテ支那ノ關稅ヲ增收セシメ、其增收シタル財源ヲ以テ國債ヲ整理スル、此機會ニ整理スル、此債權ヲ整理スレバ政府ガ其返済ヲ受ケル、ソレカラ第三ハ此事業ノ遂行デモナク、關稅ノ增收デモナク、別ニ他日支那ガ財政ニ餘裕ヲ生ジタ時ニ返シテ貰フ、此三ツノ場合ニナルヤウデアリマス、サウシテ見タ場合ニ、マサカ第三ノ場合、支那ガ他日財政ニ餘裕ヲ生ジタト云フ場合ハ、餘リニ遠イコトデアリマスカラ、既ニ外務大臣ガ銳意盡力サレテ、此關稅會議ニ目鼻ヲ着ケント爲サレテ居ルヤウデアリマスガ、關稅會議ニ於テ此借款ニ目鼻ヲ着ケヤウト云フコトヲ御決メニナルコトハ、先ヅ事業遂行ト云フコトヲ全ク斷念シタト云フコトデナケレバナラヌ、只今一二ノ例ノ中ニハ、斷念爲サレタヤウナ口吻モ見受ケルノデアリ

マスガ、黒吉金鑛森林借款、是等ノモノハ我國北滿ニ於ケル唯一ノ足場トナルベキモノデハナイカ、即チ金鑛ノ如キハ、今現ニ砂金ヲ取扱ッテ居ルダケデモ、三千萬貫位一年出テ居ルノデアリマス、之ニ少シ手ヲ入レレバ、一年ニ一億位ハ出ルモノト思フ、又森林ニ致シマシテモ、非常ナ森林地帶デアリマスカラ、北滿ニ於ケル日本帝國ノ足場ヲ建設スルモノハ、只今デハ何物モ無いノデアアルカラ、此黒吉金鑛、森林借款ナルモノガ現存シテ居ル、他ノ鐵道借款ハ前貸金デ、全部契約ガ完了シテ居ッテ、其年限中デアリマスカラ、之ヲ遂行スレバ宜シイ、斯ウ云フモノハ拋棄致サナイ方ガ宜イノデアアルガ、斯ウ云フ事ニ付テハ若シ拋棄スル御意思デアレバ、モウ一應御考直シテ願フコトガ出來ルカドウカト云フコト、ソレカラ只今ノ借款ノ中ニハ、不確實借款、即チ擔保ノ無い借款モアリマスシ、極メテ確實ナル擔保ノ附イテ居ル借款モアル、先程ノ質問應答ニモアリマシタ通り、優先擔保借款モ大分アル、英國ト關係アル海底電線ノ方ハ別ト致シマシテ、陸上ノ如キハ非常ナル大キナ財産デアアル、是等ハ取立テレバ取レルモノヲ取立テナイデ、日本ト支那ノ間ニ關係ヲ結ンデ置ク上ニ於テ斯ウ云フ有力ナル關係ヲ持ッテ居ル、故ニ此一億圓ノ借款ノ整理ニハ、是レト是レトハ不確實ノ借款デアアルカラ、此不確實ノ借款ハ

○幣原國務大臣 第一ノ御質問ノ點ハ、成ル程支那ヨリ元利ノ支拂ヲ受ケルトキト云フコトニ關シテ、如何ナル場合ニ元利ノ支拂ヲ受ケルヤト云フコトニ關シテハ、私モ其通リト思ヒマス、然ラバ本案ノ問題ニナツテ居リマス借款ガ、借款ノ目的ノ遂行ニ依テ元利ノ支拂ヲ受ケラレルヤドウカト云フコトハ、是ハ見込ノ問題デアリマス、是ハ實ハ隨分關係省トモ熟議ヲ遂ゲタノデアリマスガ、此事業ノ遂行ニ依テ元利ノ支拂ヲ受ケルト云フ見込ガ無いト云フ

コトニ吾々ハ思切ッタノデアリマス、何故ニサウ云フヤウニ思切ツカト云フコトハ、外國ニ對スル關係デ、餘リ詳シク申上ゲナイ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、兎ニ角既ニサウ思切リマス以上ハ、今回ノ關稅會議ヲ逸シテハ、モウ此元利ノ支拂ヲ受ルヤウニナル時期ヲ逸スル、旁々先ヅ今日ノ關稅會議ノ機會ヲ利用致シマシテ、本問題ノ解決ヲ圖ルノガ、一番確實デ簡便ナル方法デアアル、斯様ナ次第デアリマス、金ヲ貰ハナイデ仕事タケ進メテ行ッテ、其仕事カラ元利ノ支拂ヲ受ケル意思ハ無イカ、事實ニ於テサウ云フ見込ハ無イト私ハ思ッテ居リマス

○武内政府委員 只今委員長ノ御話ガアリマシタ、御尋デハナイ、御意見ノヤウデアリマシタガ、此際私カラ一寸釋明ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、本案提出ノ理由デアリマスガ、理由ハ第一ガ前キニ申上ゲマシタヤウニ、之ヲ此儘ニ置ケバ政府監督ノ下ニアル三銀行ガ破綻ヲスル、ソレガ爲ニ非常ニ經濟界ニ大影響ヲ與ヘル、收拾スベカラザルヤウナ大影響ヲ與ヘルカラ、此救済ヲヤリタイ、之ガ第一ノ理由ナノデアリマス、ソレカラ第二ノ理由ト致シマシテハ、當時ノ整理ノ事情ガ斯ウ々々云フ譯ニナツテ居ルカラ、之ヲ考慮シテヤル、斯ウ云フコトニ申上ゲタノデアリマシテ、第一ノ理由ガ、此政府ガヤッタノデアアル、或ハ政府ノ肩代リニヤッタノデアアル

カラト云フ意味デナイノデアリマス、ソコヲ能ク御了解置キテ願ヒタイ、ソレカラ其次ニハ矢張屢出タ問題デアリマスガ、救済ヲスルト云ツテモ、何モ支那ノ借款其モノニ立入ルノデハアリマセヌ、詰リ此興業、臺銀、鮮銀ノ肩代リヲスルコトニナルノデ、借款其モノマデ此法律ハ立入ッテ居ナイ、唯肩代リスルト云フノハ、三銀行ガ發行シテ居ル——例ヘバ興業銀行ガ利拂ガ出來ス、結局之ヲ當リ前ノ利拂ヲサシテ置ケバ、十七年ニナレバ一ツノ銀行ガ破綻シ、二十年ニナレバ又一ツノ銀行ガ破綻スル、之ヲ救済スルト云フノガ本案ノ理由デアアル、此三ツノ方針ヨリスルト云フノデアリマス、是ハ政府ノ政策遂行ノ爲ニスルノデナク、經濟界ニ影響ガアルト云フ趣旨カラ、政府トシテハ外ノ理由ヨリモ、今ノ經濟界ニ影響ヲスルト云フコトヲ第一ノ理由ト致シマシテ、其他ハ實ハ附隨ノ理由ニ致シテ居ルノデアリマス、初ノ事ハ成ベク高唱致シタクナイノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○牧山委員 私ハ政府ニ參考ノ資料ヲ要求致シタイノデアリマス、只今武内君ノ御説明デモ此法案ノ提出ノ第一ノ理由ハ、此儘ニ打棄テ置ケバ興業、鮮銀臺銀總テ破産ヲスルト云フコトデアリマスカラ、ソレニ付テハ此三銀行ノ業態ト云フモノヲ質サナケレバナラヌノデアリマス、現在ノ三銀行ノ業態ガド

ウ云フ風ニナツテ居ルカ、又朝鮮銀行、臺灣銀行等ニ對シテハ、是ハ歷代ノ政府ガ屢巨額ノ低利資金等ヲ融通シタ、サウ云フヤウナ經過モ、矢張數字トシテ明カニ御記載ノ上御示シテ願ヒタイト思ヒマス、是ハ營業上ノ秘密ニ互ル個人ノ貸借表ナドヲ見ヤウトハ思ハヌノデアリマスガ、本法案審議ノ上ハ是非三銀行ノ實狀ヲ知リタイ、本案ノ成否ハ財界ニ非常ナ影響ヲ及ボス事ガアリマスカラ、斯ウ云フ事ハ成ベク明カニシテ、吾々ノ得心ノ行クヤウナ御説明ヲ得タイト思ヒマスカラ、是ハ次ノ機會デ宜シウゴザイマスカラ、成ベク詳細ニ文書ヲ以テ御答辯ヲ願ヒタイ、提案ノ理由ノ第二ハ當時ノ事情ト云フコトデアリマスカラ、此當時ノ事情ヲ承知スルニハ、當時政府ヨリ三銀行ニ交付シタル覺書ヲ見ル必要ガアリマス、是非此二ツヲ要求シマス

○中村委員長 大藏大臣ハ稅制委員會デ答辯中デ、當委員會ニハ出席不可能ト云フコトヲ申出ラレマシタ、ソレデ今日ハ是デ散會シマシテ、次回ハ此室ハ狹イノデ、第二委員會ニ變更スルコトニナツテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

午後三時三十五分散會